

令和7年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立大井沢小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立大井沢小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動を通して外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する

必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（87.7%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成23年4月

平成30年4月 変更

平成31年4月 変更

令和2年4月 変更

令和6年4月 継続

令和7年4月 継続

(5) 取組の期間

令和9年3月31日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	50.9
楽しい	40.0
あまり楽しくない	9.1
楽しくない	0

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	60.0
楽しい	38.2
あまり楽しくない	1.8
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	76.4
話せるようになりたい	23.6
あまり話せるようになりたくない	0
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	65.5
知りたい	16.4
あまり知りたくない	14.5
知りたくない	0

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	60.0
楽しい	33.8
あまり楽しくない	5.0
楽しくない	1.2

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	70.0
楽しい	21.3
あまり楽しくない	7.5
楽しくない	1.2

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	63.7
話せるようになりたい	28.7
あまり話せるようになりたくない	6.3
話せるようになりたくない	1.2

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	46.3
知りたい	38.3
あまり知りたくない	10.0
知りたくない	5.0

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	82.7
よい	16.0
あまりよくない	0.6
よくない	0.6

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	25.3
楽しみにしている	59.9
あまり楽しみにしていない	11.7
楽しみにしていない	3.1

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	21.0
増えていると思う	56.8
あまり増えていると思わない	16.0
思わない	6.2

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	20.5
(英語を) 聞く力	34.8
(英語を) 話す力	23.9
(英語を) 読む力	6.4
(英語を) 書く力	2.3
力が身に付いていると思わない	12.1

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・英語の授業時数を増やしてほしい。
- ・毎日英語に触れるようにしてほしい。
- ・高学年は書く力と読む力を身に付けさせてほしい。
- ・中学校とのギャップをなくしてほしい。
- ・様々な国の人と会話をしてほしい。また、海外の考えや文化を知ってほしい。
- ・英語を好きになってほしい。
- ・書く力よりも聞く力や話す力を付けてほしい。
 - ・家や英語塾では味わえない海外の行事や文化に触れる体験型の授業を増やしてほしい。
- ・授業だけでは身につかないので宿題を出してほしい。
- ・ネイティブと日常会話ができる力を付けてほしい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	100
よい	
あまりよくない	
よくない	

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	100
楽しみにしている	
あまり楽しみにしていない	
楽しみにしていない	

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	
増えていると思う	100
あまり増えていると思わない	
思わない	

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いていると感じ
 になることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	50
(英語を) 聞く力	20
(英語を) 話す力	15
(英語を) 読む力	5
(英語を) 書く力	10
力が身に付いていると思わない	

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

・AI パフォーマンステストを効果的に活用したい。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

「関わる力」の育成を目標に、聞くことと伝えることに重点を置いて指導してきた。相手の話を最後まで聞く態度や、わかったことを自分の言葉で伝えようとする姿勢を大切にしながら授業を積み重ねてきた。その結果、学校全体として聞く力と伝える力の向上が見られた。特に1・2年生においては、英語を意欲的に聞こうとする姿勢が育ち、聞き取った内容を自分なりに伝えようとする様子が見られるようになった。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

教育課程全体としてバランスのとれた教育活動を推進した結果、学校教育法に示す目標の達成に向けた成果が見られた。1・2年生は、楽しみながら英語に親しむ活動を通して外国人と関わることに慣れ、ALT が変わっても抵抗なく英語で話しかける姿が定着している。また、各学年においても、外国人と日常会話を自然に楽しむ様子が見られ、廊下など日常場面でも自ら英語でコミュニケーションを図る姿が育っている。

(3) 今後の課題

反応や相槌など自然なやり取りの力を低学年から計画的に育成するとともに、一人一人が到達目標を設定し、主体的に英語力を高めていけるよう指導を充実させていきたい。また、一つの学年だけでなく、系統的・継続的なカリキュラムの充実を図る必要がある。英語を使うことが授業の中だけにとどまらず、日常の中で自然に活用される力として定着するよう、実践の質と量の両面から学びの機会を計画していきたい。

5 授業の様子



2年生の様子



5年生の様子